

第 1 回 四街道市自転車計画協議会

議事要旨

- 日 時：令和 5 年 11 月 16 日（木） 13 時 30 分～ 14 時 40 分
- 場 所：四街道市役所新館 5 階 第 1・2 会議室
- 出席者：鈴木市長※途中退席、小早川委員※本協議会で会長に就任、福田委員※本協議会で副会長に就任、佐藤委員、鈴木委員、伊藤委員、安井委員、内田委員
- 事務局出席者：（都市部）野口部長、河野副参事
（市街地整備課）黒川課長、飯島係長、萩原主事、皆川主事
（(株)セット設計事務所）社員 3 名
- 傍聴人：0 名

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 委嘱状交付式

4. 委員紹介

5. 会長及び副会長選出

市長が進行し、協議会設置要綱第 4 条第 2 項の規定により、委員の互選により定める旨を委員に問いかける。

佐藤委員が事務局一任を提案し、一同異議なし。

続けて事務局が小早川委員を会長に、福田委員を副会長に推薦。一同異議なし。

<小早川委員が会長、福田委員が副会長となった。>

6. 会長挨拶

～市長退室～

7. 会議録作成の取扱い

本会議の議事録作成に当たり、発言者名を明記する取り扱いとすることについて、一同異議なし。

<会議録に発言者名を明記することとなった。>

8. 会議の公開・非公開の決定

本会議の公開、及び傍聴者の途中入室について、一同異議なし。

<本会議は公開となった。>

(傍聴希望者なしのため、途中入室者があった場合随時報告を事務局にお願いする。)

9. 議事

(1) 自転車関連計画の策定の趣旨(資料1)

(事務局) 黒川

～事務局より資料説明～

(会長) 小早川

ただ今の資料1に関して質問等はあるか。

(会長) 小早川

この資料1は自転車活用推進計画と自転車ネットワーク計画の両方をこの協議会で議論していく位置付けでよいか。

(事務局) 黒川

そのとおり。(それぞれの冊子にまとめる。)

(会長) 小早川

では、活用推進計画とネットワーク計画の両方をこの協議会で議論していくことになる。

他に質問等がないようであれば、次に進む。

(2) 自転車利用に関する現状(資料2)

(事務局) 黒川

～事務局より資料説明～

(会長) 小早川

ただ今の資料2に関して質問等はあるか。

(委員) 佐藤

P7 市民の健康状況の図1-9の中で、四街道市はメタボリックシンドローム予備群が令和元年度から令和2年度にかけて、他市と比べて極端に増えているが、この理由は分かるか。

(事務局) 黒川

今すぐに回答できないので調査をする。

(副会長) 福田

P20 駅前の駐輪場について、今日、四街道駅から市役所まで歩いてきて、あまり放置自転車等を見かけない非常にきれいな街だという印象だったが、駅前の駐輪場は足りているのか、余っているのか。

(事務局) 黒川

P20 図2-6の四街道駅駐輪場①～⑦まで合わせると6,850台ある。図2-7の物井駅駐輪場⑧,⑨を合わせると1,120台。これらを合計すると7,970台になる。表2-2の令和4年度の定期利用者数は5,253人なので、約2,700台が余っている状況である。また、表2-3のように一時利用者もいるが、合計しても余っている。

(副会長) 福田

これ以上新しく作る必要はないということか。

(事務局) 黒川

今のところは新しく整備する必要はないと考えている。

(会長) 小早川

整備台数が余っている状況だが、P21は放置自転車が約400台あるので、これについては取組む必要がある。また、どこで自転車が放置されているか調べてあるか。これは知っておいた方がよいことである。

(事務局) 野口

これは土木課の所轄であるが、四街道駅北口・南口周辺はほとんど自転車駐輪禁止区域に定められている。そこに放置されている(駐輪場以外に停めてある)場合であれば、二時間経過すると即座に撤去するシステムになっている。コロナ禍で人出が無かったが、コロナ明けで買い物をする人の増加とともに増えていると考えられるが、以前に比べると放置自転車の数は減ってきている。

駐輪場は現状増やす必要はないが、北口第1・2自転車駐車場が老朽化しており、対策を予定している。

(会長) 小早川

それらの話は、今回の自転車活用推進計画の中に盛り込んでいくのかどうか、検討してもらいたい。老朽化で建替えることも自転車活用を推進していく上で、重要な視点だと考える。方法はお任せするが、計画の中に盛り込んでもらいたい。

(会長) 小早川

P17 自転車の市外への利用で、四街道市民は千葉市の方向へ自転車で行く人が多いのか。図2-2を見るとそう感じてしまう。

(事務局) 黒川

これはパーソントリップのデータから作成しているものだが、図を見ると直接自転車で行っているように思われてしまうが、実際は移動する際に一部自転車を使っていることを表している。したがって、直接自転車で行っているかどうかはわからない。

(会長) 小早川

この図は扱いに気を付けること。仮に多くの人々が直接自転車で千葉市に行っている場合、千葉市のネットワーク計画と四街道市のネットワーク計画は繋げる必要があると考える。繋げる必要があるのかどうかは、自転車利用と合わせて今後の検討課題となる。

(会長) 小早川

P12 学校・ゾーン 30 の中で、四街道市は中学校の自転車通学は認めているのか。

(事務局) 黒川

P22 市内には5つの中学校があり、その中で自宅から2km以上ある場合、自転車通学が出来るようになっている。例えば、図2-9の四街道西中学校は緑線が自転車通学路となる。

(会長) 小早川

他の市で交通安全の対策をやった時、自転車の事故は中学生高校生が非常に多いことがわかっている。したがって、中学生が通学に使っていいとしているのであれば、計画に盛り込んでおく必要がある。

他に質問等がないようであれば、次に進む。

(3) 自転車活用推進計画及び自転車ネットワーク計画の骨子案 (資料3)

(事務局) 黒川

～事務局より資料説明～

(会長) 小早川

ただ今の資料3に関して質問等はあるか。

再度の質問となるが、ネットワーク計画案とは別途作るのか。一つの中に入っているのか、別々で参照するのか。

(事務局) 黒川

冊子としては、別々に作成する。しかし、議論自体は一緒に行く。

(会長) 小早川

議論は一緒にやるが、冊子はそれぞれ作成するということで理解した。

(会長) 小早川

4本の柱の中で⑦自転車通勤等の促進は、市として自転車通勤を促進する方針で進めていくことで大丈夫か。

(事務局) 黒川

そのように考えている。

(会長) 小早川

実際、自転車通勤では人の割合は多いのか。

(事務局) 黒川

地域別自転車利用者数で通勤者・通学者は約39,300人であり、その内、自転車を利用している人が約5,500人となっている。

(会長) 小早川

自転車の利用者をもう少し増やしていこうということか。

(事務局) 黒川

そうである。

(会長) 小早川

それならそれでよいと思う。

(委員) 安井

取組概要の3. 観光は、具体的にはどのようなことを想定しているのか。四街道はあまり観光資源がない状況で、あえてこれを入れるのか。また、観光は市外・県外から人を呼び込むところまで想定しているのかお聞きしたい。

(事務局) 黒川

資料2のP26、千葉市、四街道市、市原市の3市が連携したサイクリングコースの青線が往復60kmのショートコースとなっており、そのコースに福星寺や四街道icoba、四街道中央公園、房の駅などがある。また、長距離コースでは四街道総合公園があるため、そういうところから観光を考えていきたい。

(会長) 小早川

道の駅等で自転車用ラックを置いて、自転車に乗る人たちが休めるようになっている事例がある。自転車に乗る人はラックが置いてあるところに居たいという意識があるみたいで、そういう休憩施設のようなものを自転車用に作ってあげるといいのではないか。サイクルツーリズムなど具体的にどうやっていくのかは、今後検討されると思うが、その時に他の事例なんかも参考にさせていただければと思う。

(事務局) 黒川

他の事例も参考にする。

(委員) 伊藤

警察としては安全・安心というところに関わってくると考えている。大枠の推進計画と合わせて協議していきたい。

(会長) 小早川

では、その4. 安全・安心の⑨、⑩等が関係してくるか。

(委員) 伊藤

⑩では、市の進行と合わせて一緒にやっていくことになる。

(会長) 小早川

⑨と⑩、それから⑪と⑫も県警の意見を入れて計画を作っていければと思う。

(委員) 鈴木

千葉県印旛土木事務所としては、活用推進計画及びネットワーク計画の中に県道も該当すると思うため、調整することがあるかもしれない。

また、この4本の柱の中で、通学路の安全のための点検もあるが、県道であれば、歩道整備だとか、自転車利用者との分離につながるような対策を進めていければと考え

る。四街道市と協力してやっていければと思う。現在、歩道整備、交差点の改良、バイパスの整備等は進めている。

(会長) 小早川

先ほど交差点での事故が多いとの説明があったが、交差点の処理はすごく難しいので、今整備されているところも含めて連携して計画を作っていただけたらと思う。

(会長) 小早川

すべてを通して何か質問等はあるか。

(委員) 福田

資料2のP28 アンケート調査の赤枠内が「自転車交通帯の整備」となっているが、このアンケート自体は自由記入でこの結果になったのか。それとも、この選択肢がアンケート結果の中にあって、選択肢を選んだ結果なのか知りたい。

(事務局) 野口

自由回答である。

(委員) 福田

自由回答ならば、自転車交通帯整備以外にも自転車に関する記載が埋もれている可能性があるのではないか。4つの柱の中から、市民が望んでいるようなことを絞り出すのは難しいし、どれが市民の優先順位が高いものなのかわからない。よって、過去にやったアンケート結果から、もう少し探してみてもどうか。

(事務局) 黒川

過去のアンケートを調べておく。

(会長) 小早川

自転車交通帯というのは微妙な表現。これだと、レーンのことを指しているのか、矢羽根のことを指しているのかわからない。

(事務局) 野口

アンケートをしたタイミングが、千葉市で矢羽根を描いたときだったため、そういうものを主にイメージしていると考えている。

(委員) 福田

バス停のところでどのような通行をさせるのか、取扱いが難しい。バスレーンがあるところは大丈夫だが無いところは、対処していただけたらと思う。

(委員) 伊藤

ヘルメットの装着の促進について、先ほど自転車駐輪場の建替えの話があったが、一部のアンケートでは、ヘルメット置場がないから被らないという結果がある。ヘルメット置場の設置等を検討していただきたい。

(会長) 小早川

努力義務が進まない中で、いろんなところで問題になっているが、ヘルメットを購入した時に補助金が出る自治体の事例も聞いたことがある。そのヘルメットの扱いについては、他の事例を調べていただければと思う。

(会長) 小早川

以上をもって、本日の議事はすべて終了しましたので、進行を事務局へお返りする。

10. その他

策定スケジュール（予定）（資料4）

～事務局より資料説明～

11. 閉会